

那珂市複合型交流拠点施設「道の駅」整備

第5回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれるまちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備について検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、検討委員会を開催しました。1月20日（金）に行われた第5回の検討委員会では、主に導入機能についての意見交換を行いました。

今後は、委員の皆様のご意見を踏まえながら、ゾーニングや概算事業費、施設の整備手法、整備効果及び地域振興方策等について検討を進め、基本計画の策定に向けた議論を行ってまいります。

■ 主な協議内容

- ・サウンディング調査結果について
- ・導入機能について
- ・ゾーニングについて

委員からの主な意見

- バーベキュー施設は、新型コロナウイルス感染症の影響で客が減っている。ロケーションも踏まえて導入を検討すべきである。
- ほ場の計画面積は相当大きい印象がある。ハウス栽培を検討してはどうか。
- 駐車場のスペースについては、イベント時は満杯となることが想定されるため、更に大きなスペースが必要。
- バックヤード機能については、従業員用の休憩スペースや事務所機能、更に梱包スペースが必要となる。
- 県外からの利用客の観光の目玉として、体験機能に力を入れるべきである。
- 直売所については、売場面積の大型化が進んでいる昨今において、更に広いスペースが必要となる。
- ヘリポートについては、有事を想定し専用のスペースとして確保すべきか否か検討し、通常時におけるスペースの使われ方等も併せて検討してもらいたい。
- 地場産の食材とのコラボレーションも想定し、入居するテナント等を検討してもらいたい。



まとめ: 活発な議論が行われ、特に、導入機能の使われ方や規模について多くの意見が挙がりました。委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、道の駅の整備について検討を進めてまいります。

今後の検討委員会のスケジュール（予定）

